

投 稿 規 定

1. 本誌への投稿原稿は、総説、原著、症例、統計と資料、現況等とし、他の雑誌に未掲載のものに限る。
2. 原稿は、和文または欧文とする。
3. 論文の長さに制限はないが、簡潔、明瞭を旨とすること。
4. 和文原稿は、B5判横書き原稿用紙（20×20字）を用い、平かな、新かなづかい、新医学用語を用いること。ワープロ可。
5. 英文原稿は、タイプ用紙を用い、ダブルスペースにて鮮明にタイプし、両端を3cmあける。
6. 原稿には表紙をつけ、表題、著者名、所属、簡潔表題（running title, 25字以内）、を記載する。次のページに、400字以内の要旨と索引用語（和文）およびKey words,（英文）おのおの5語以内を記載する。
7. 「総説」「原著」「症例」欄への投稿原稿作成上の注意。
和文原稿には、ダブルスペース4枚以内の英文抄録を、欧文原稿には、40字以内の和文抄録をタイトル、著者名、所属とともに原稿の末尾につける。
8. 度量衡の単位はmm, cm, ml, mgなどと記載する。
9. 文献は、引用番号（本文中の引用順）、著者氏名（全員）：題名、雑誌名、巻数：：始め、および終わりの頁、西暦年号の順に記載する。
誌名の略記は、引用雑誌所載の略号を用いる。単行本の場合は、著者名：論文題名、書名、編者名、版数、発行者、発行地、西暦年号、頁の順に書く。
引用例
谷崎勝朗, 駒越春樹, 周藤眞康, 森永 寛, 大谷 純, 多田慎也, 高橋 清, 木村郁郎：気管支喘息の温泉プール水泳訓練療法－ステロイド依存性重症難治性喘息を中心に－アレルギー, 33:389-395, 1984.
10. 別刷：掲載の分には別刷30部は無料とする。有料別刷は50部単位とする。別刷の必要部数は原稿表紙に朱書すること。
11. 原稿の提出先は、環境病態研報告編集委員会あてとすること。

編集委員（五十音順）

亀山恒雄, 出石通博, 奥田博之, 亀井清重, 古元嘉昭, 後藤生治, 谷崎勝朗, 原田英雄,
保田立二^(※), 吉田順子

(※) 編集委員長